

第3章 県の特定期間について

特定の課題に関する意識（問3）

1 県の広報活動について

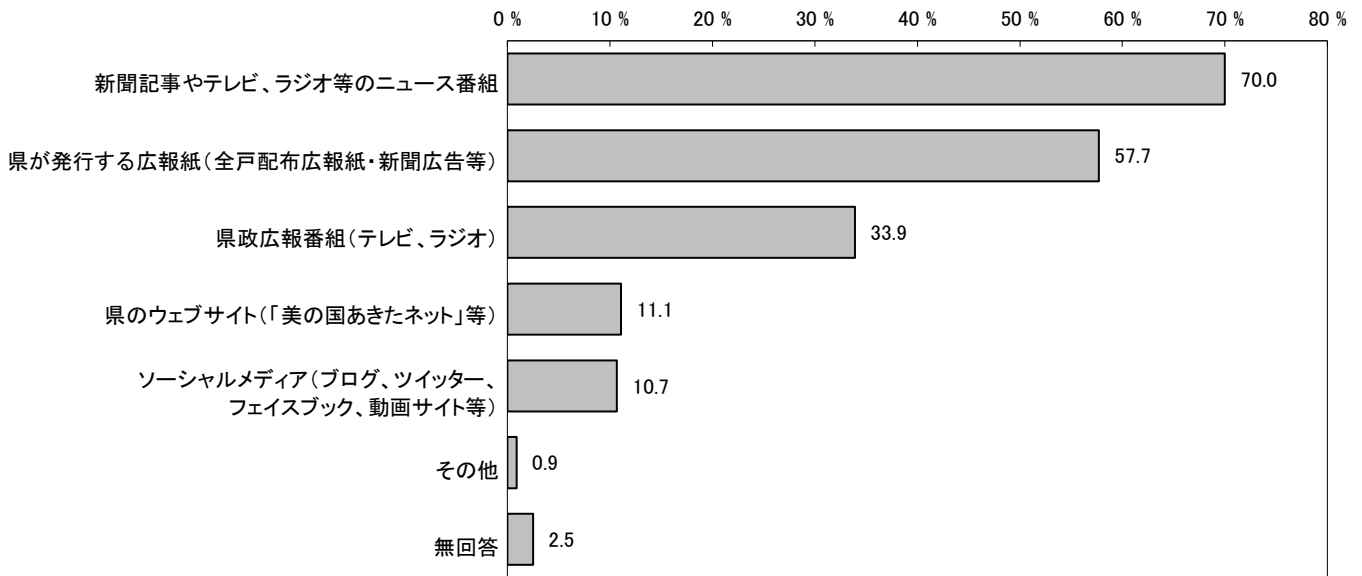
（1）県が発信する情報の取得方法

① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（〇はいくつでも）。

全体では、「新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組」の割合が70.0%と最も高く、「県が発行する広報紙」の57.7%、「県政広報番組」の33.9%と続いている。

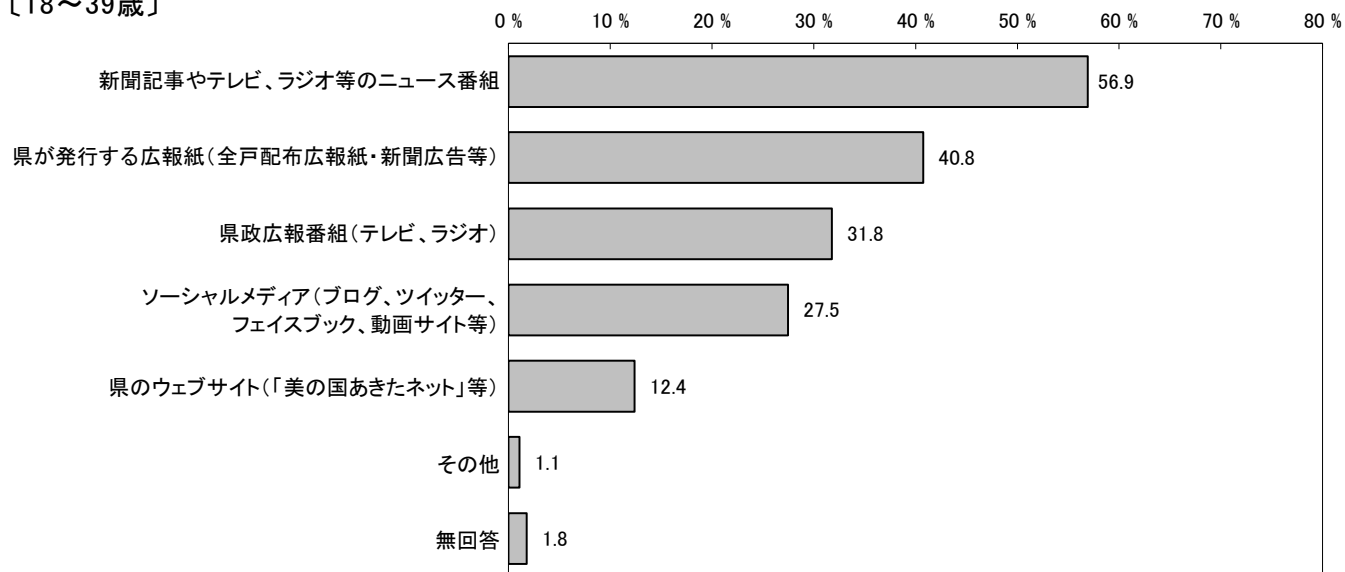
年代別では、全年代共通で「新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組」の割合が最も高い。また、「ソーシャルメディア」の割合は、18～39歳で27.5%と最も高いのに対し、60歳以上で2.4%と最も低い。

【全体】

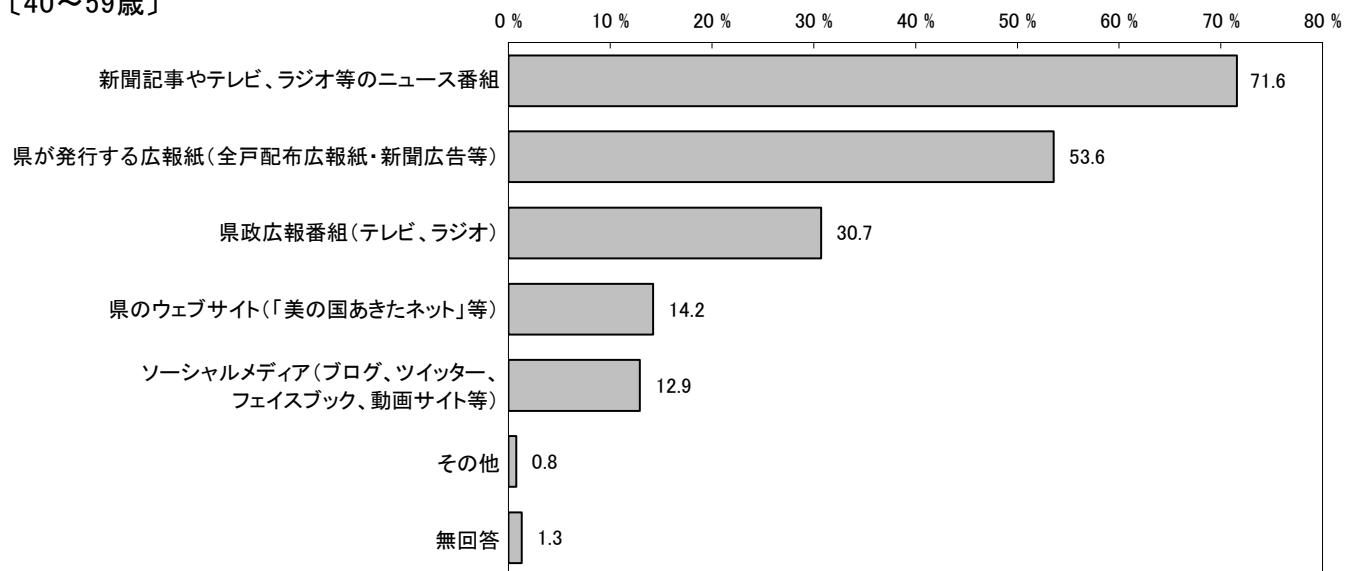


【年代別】

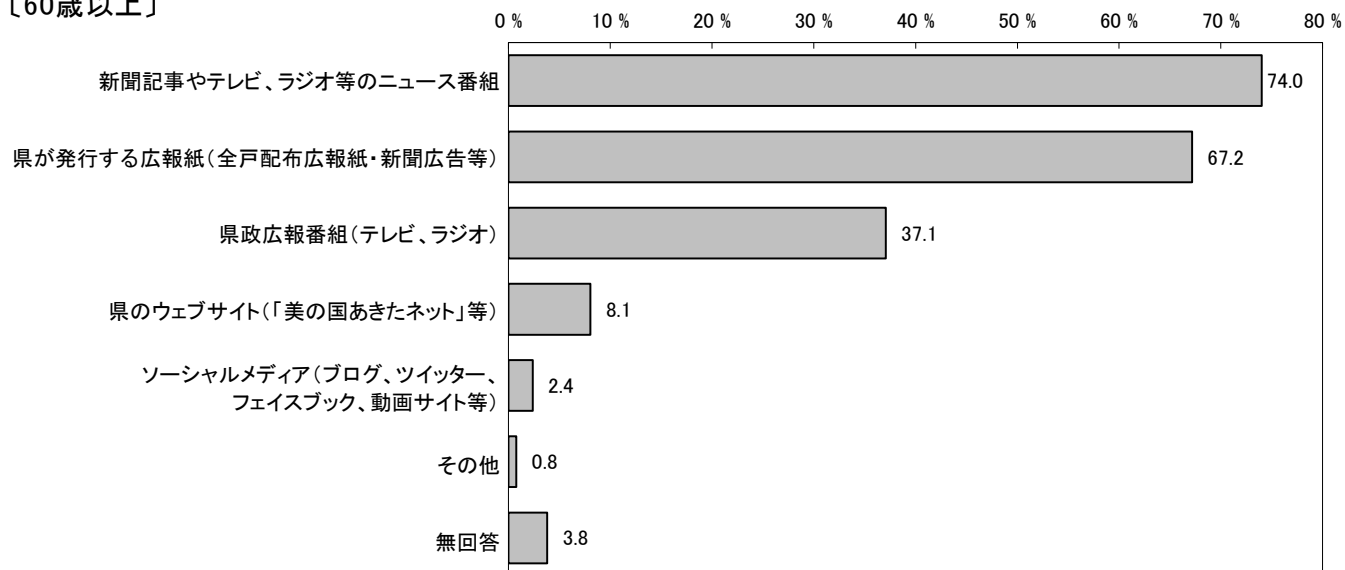
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



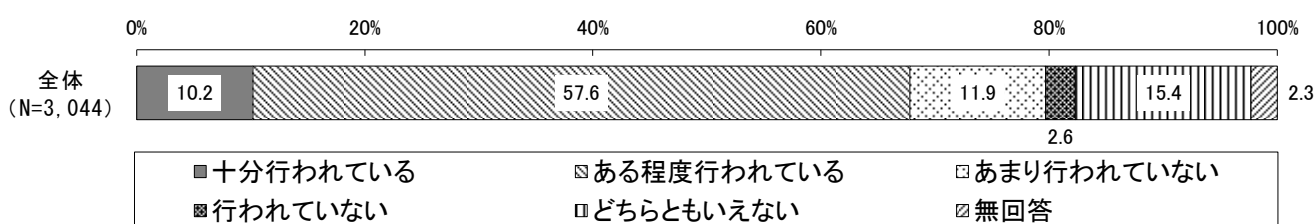
(2) 広報活動の現状評価

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

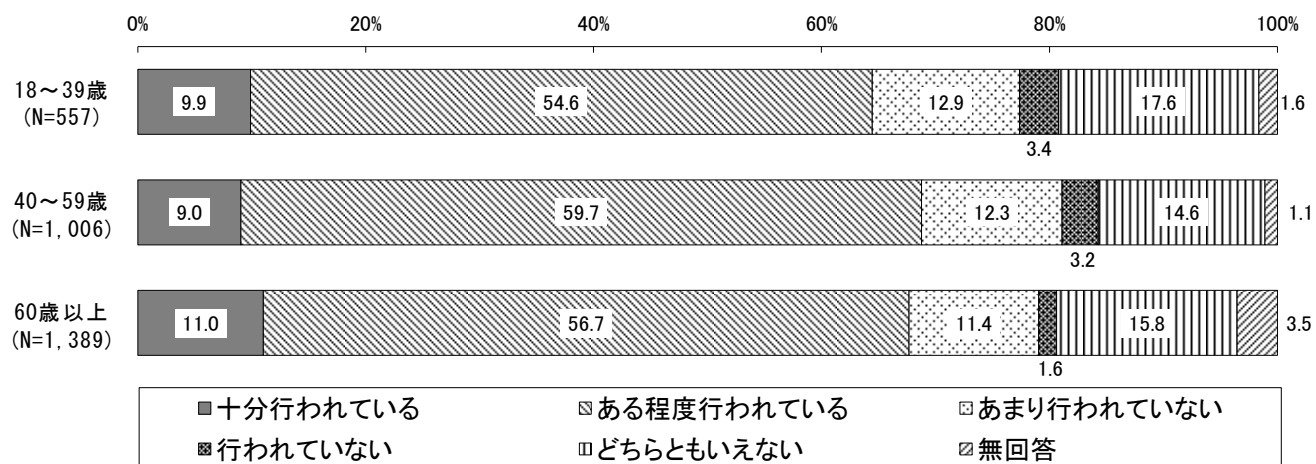
全体では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は 67.8%で、「あまり行われていない」と「行われていない」を合わせた割合 14.5%よりも高い。

年代別では、「十分行われている」と「ある程度行われている」を合わせた割合は、40～59歳で 68.7%と最も高い。「あまり行われていない」と「行われていない」を合わせた割合は、18～39歳で 16.3%と最も高い。

【全体】



【年代別】



2 家庭での防災活動について

(1) 家庭での災害時に備えた備蓄状況

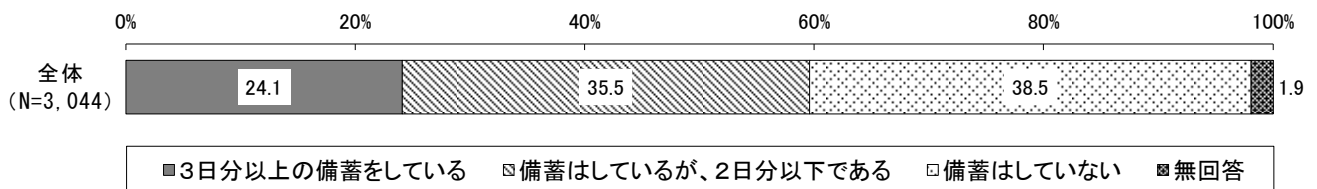
① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含まれます。

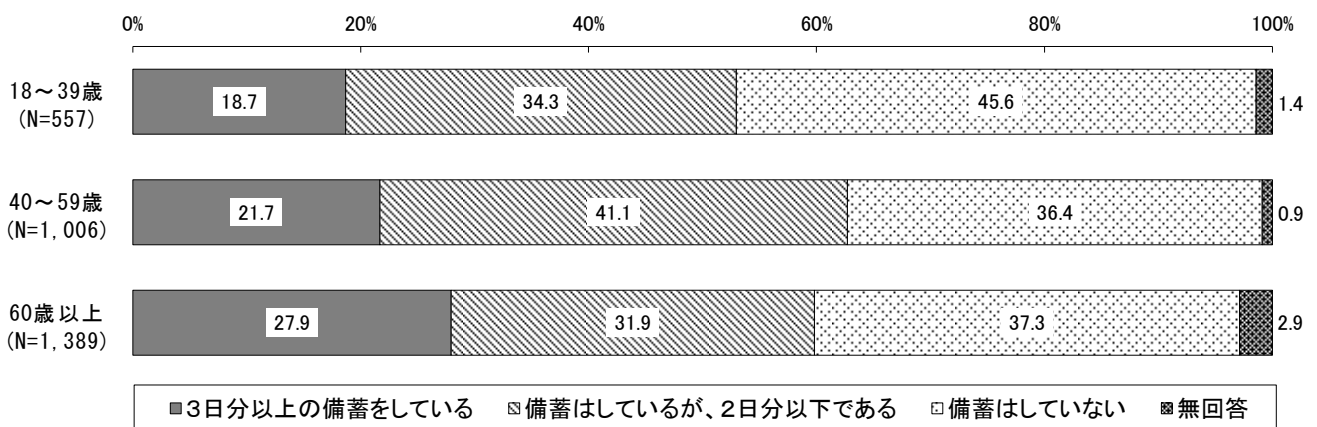
全体では、「3日分以上の備蓄をしている」と「備蓄はしているが、2日分以下である」を合わせた割合は59.6%で、「備蓄はしていない」の割合38.5%よりも高い。

年代別では、「3日分以上の備蓄をしている」と「備蓄はしているが、2日分以下である」を合わせた割合は、40～59歳で62.8%と最も高い。「備蓄はしていない」の割合は、18～39歳で45.6%と最も高い。

【全体】



【年代別】



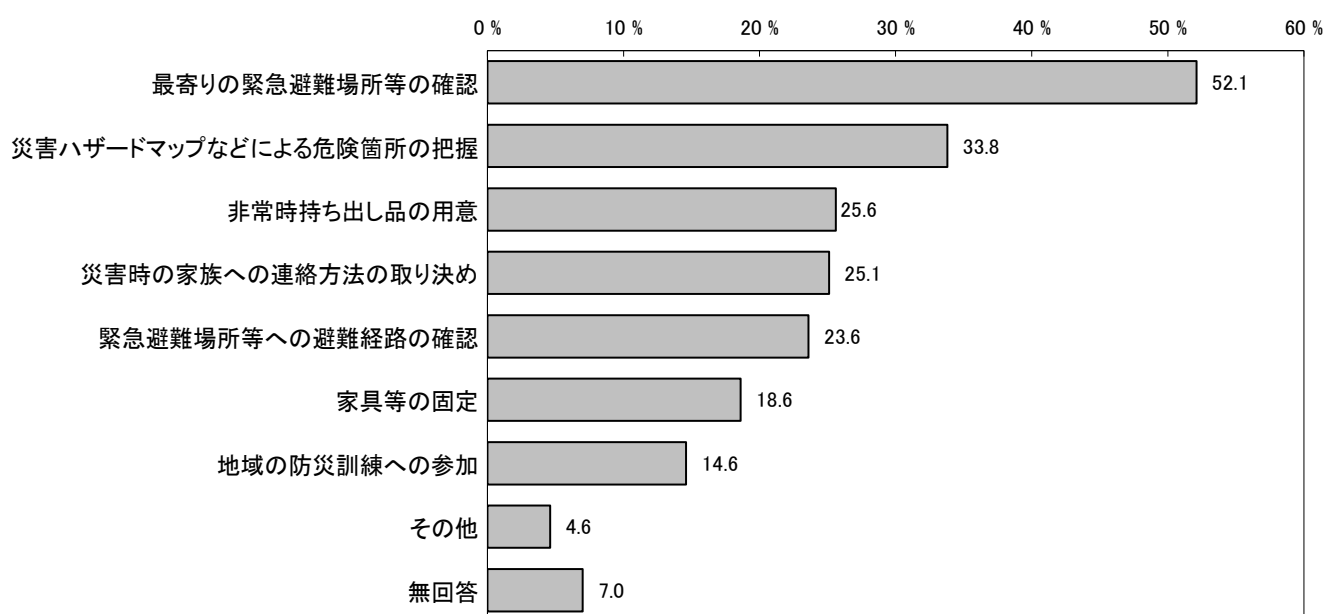
(2) 災害に備えた家庭での防災活動の状況

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（〇はいくつでも）。

全体では、「最寄りの緊急避難場所等の確認」の割合が 52.1%と最も高く、「災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握」の 33.8%、「非常持ち出し品の用意」の 25.6%、「災害時の家族への連絡方法の取り決め」の 25.1%と続いている。

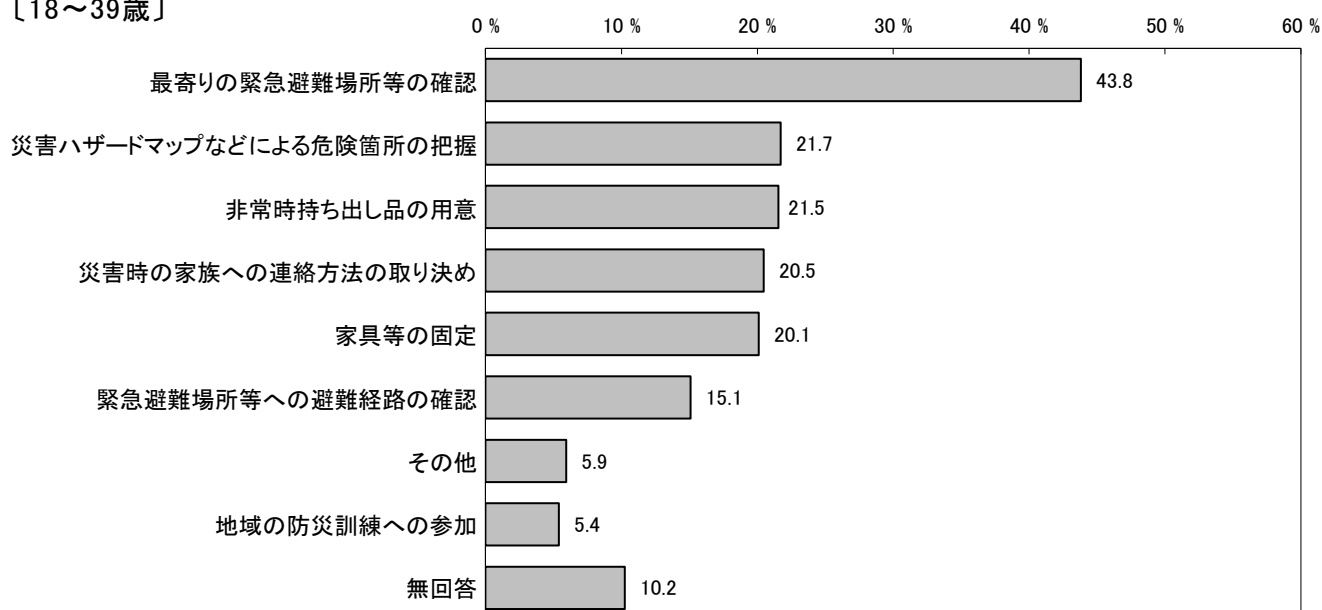
年代別では、「最寄りの緊急避難場所等の確認」の割合は、40～59 歳で 54.7%と最も高いのに対し、18～39 歳で 43.8%と最も低い。また、「災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握」の割合は、60 歳以上で 39.2%と最も高いのに対し、18～39 歳で 21.7%と最も低い。

【全体】

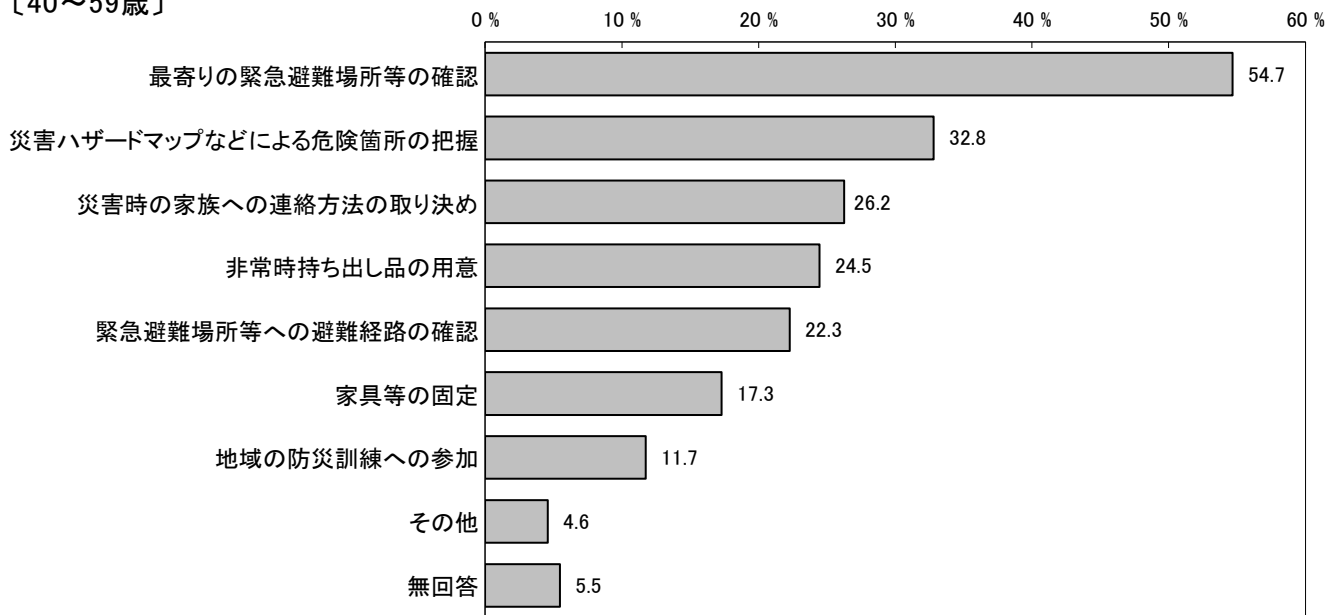


【年代別】

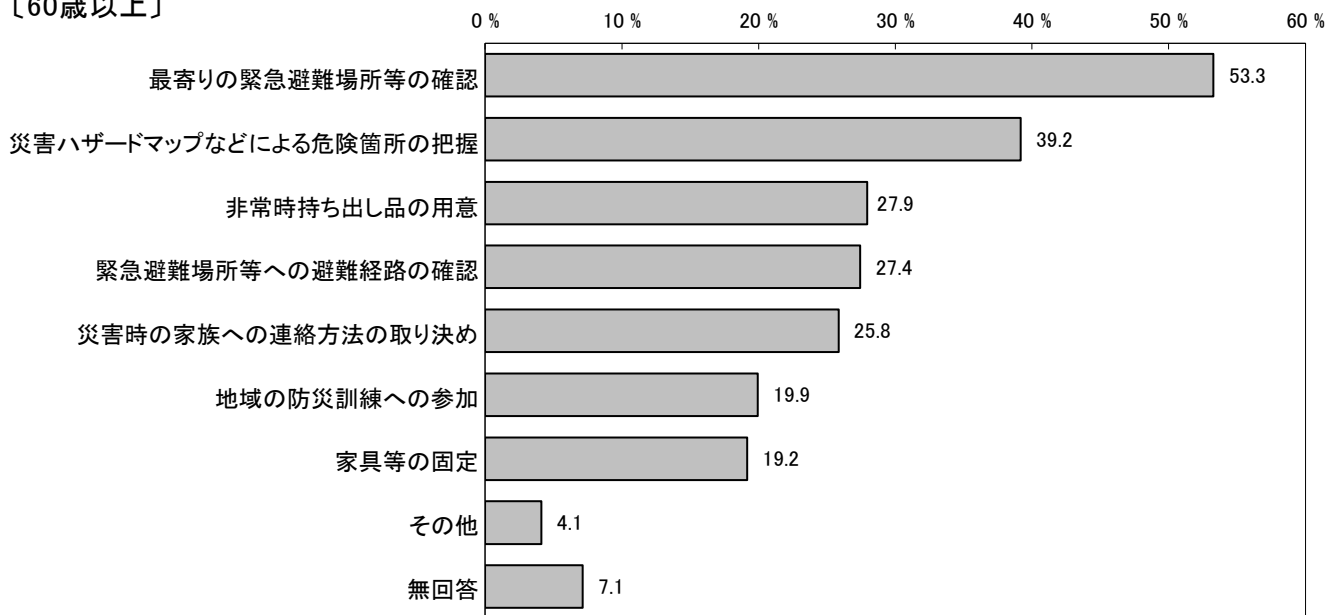
〔18～39歳〕



[40～59歳]



[60歳以上]



3 読書活動について

(1) 読書への興味

① あなたは読書（※）が好きですか（○は1つ）。

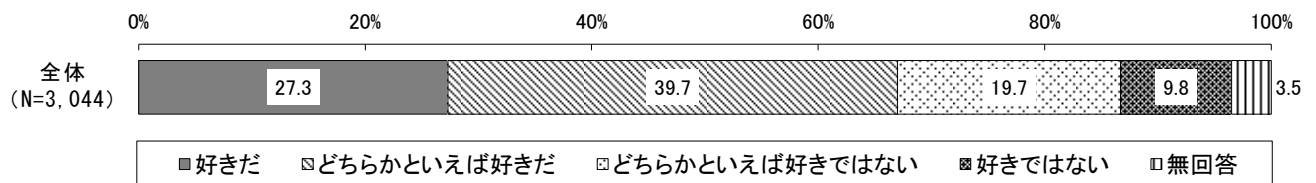
※読書には、新聞（日刊紙の電子購読版を含む。）、雑誌、電子書籍、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注）も含まれます。

（注）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット等のことです。

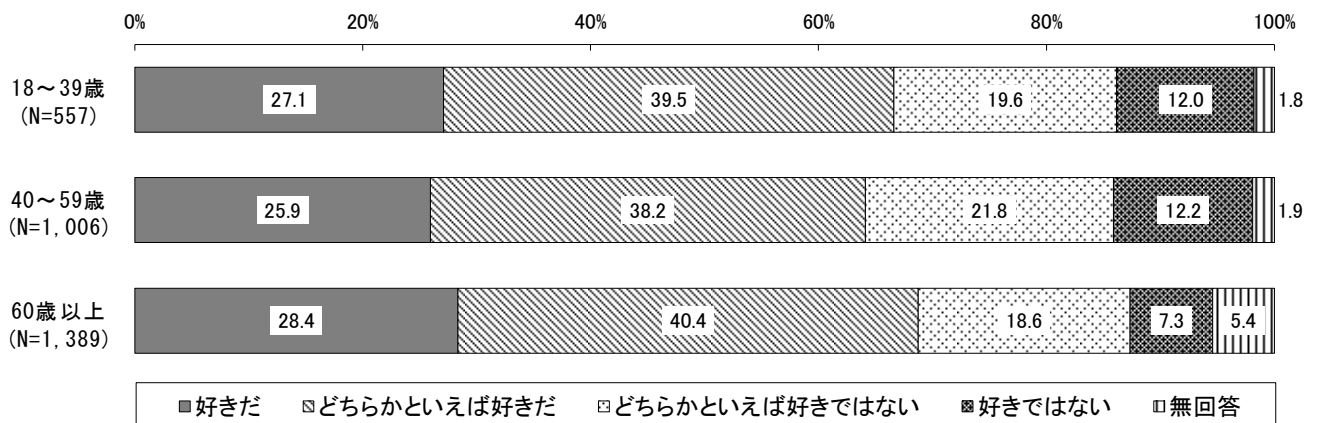
全体では、「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた割合（読書を好きと感じている人の割合）は67.0%で、「好きではない」と「どちらかといえば好きではない」を合わせた割合29.5%よりも高い。

年代別では、読書を好きと感じている人の割合は、60歳以上で68.8%と最も高い。「好きではない」と「どちらかといえば好きではない」を合わせた割合は、40～59歳で34.0%と最も高い。

【全体】



【年代別】



(2) 1日の平均読書時間

② あなたは1日平均(※)どれくらい読書をしていますか(○は1つ)。

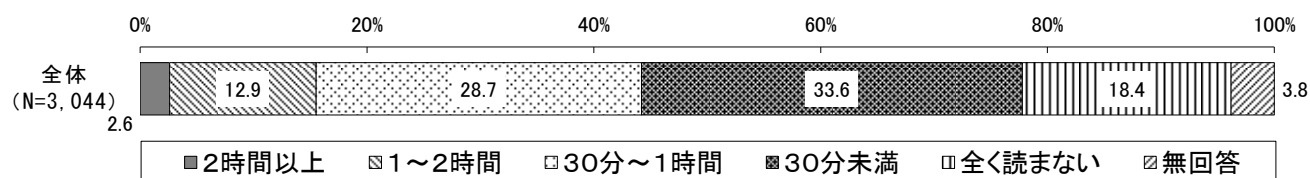
※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、1日平均に置き換えてください。

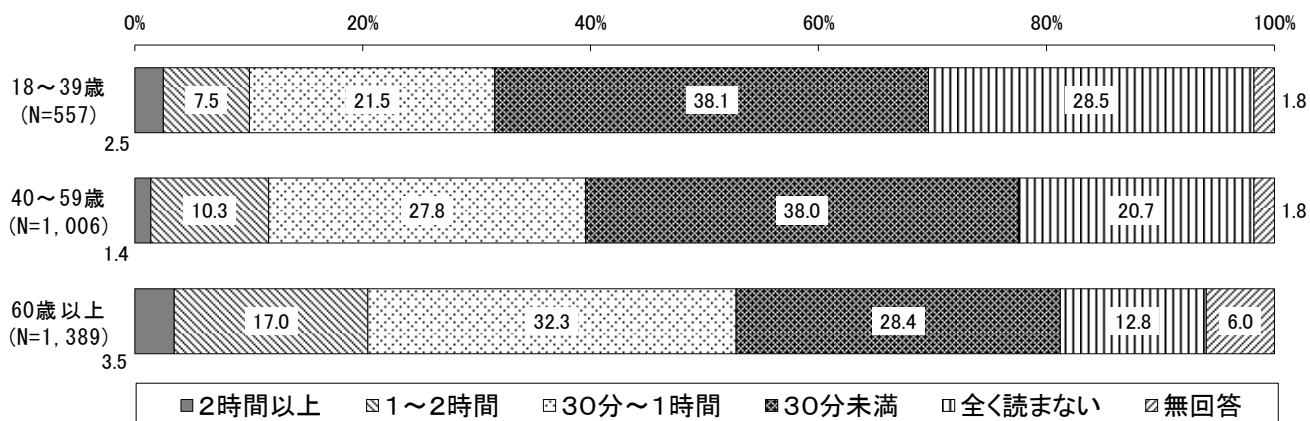
全体では、「2時間以上」、「1～2時間」及び「30分～1時間」を合わせた割合(30分以上読書をする人の割合)は44.2%となっている。また、「全く読まない」の割合は18.4%となっている。

年代別では、30分以上読書をする人の割合は、60歳以上で52.8%と最も高い。「全く読まない」の割合は、18～39歳で28.5%と最も高い。

【全体】



【年代別】



4 農業への就業について

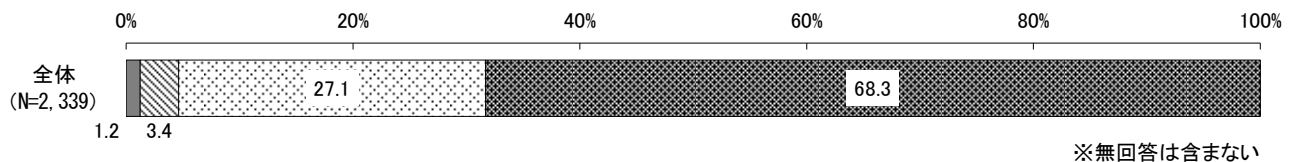
(1) 農業への就業についての興味

① 現在、農業へ就業していない方にお聞きします。あなたは、農業への就業について、どのように考えていますか（〇は1つ）。

全体では、「農業への就業に興味はない」の割合が 68.3%と最も高く、「専業での農業への就業に興味がある」と「兼業(副業・アルバイトを含む)での農業への就業に興味がある」を合わせた割合 30.5%よりも高い。また、「将来、後継者として農業へ就業する予定である」の割合は1.2%となっている。

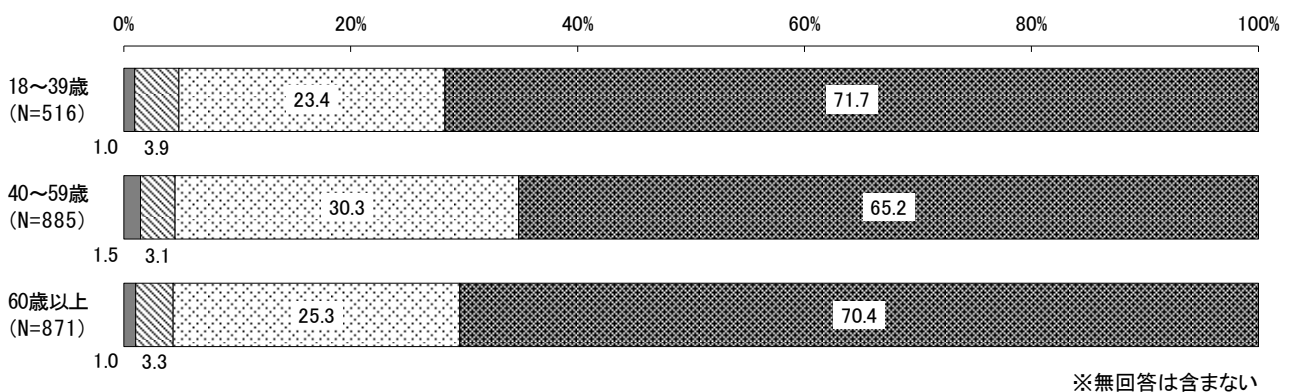
年代別では、「専業での農業への就業に興味がある」と「兼業(副業・アルバイトを含む)での農業への就業に興味がある」を合わせた割合は、40～59歳で33.4%と最も高い。「農業への就業に興味はない」の割合は、18～39歳で71.7%と最も高い。

【全体】



- 将来、後継者として農業へ就業する予定である
- ▨ 専業での農業への就業に興味がある
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)
- ▤ 兼業(副業・アルバイトを含む)での農業への就業に興味がある
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)
- 農業への就業に興味はない
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)

【年代別】



- 将来、後継者として農業へ就業する予定である
- ▨ 専業での農業への就業に興味がある
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)
- ▤ 兼業(副業・アルバイトを含む)での農業への就業に興味がある
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)
- 農業への就業に興味はない
(「将来、後継者として農業へ就業する予定である」に該当する方を除く)

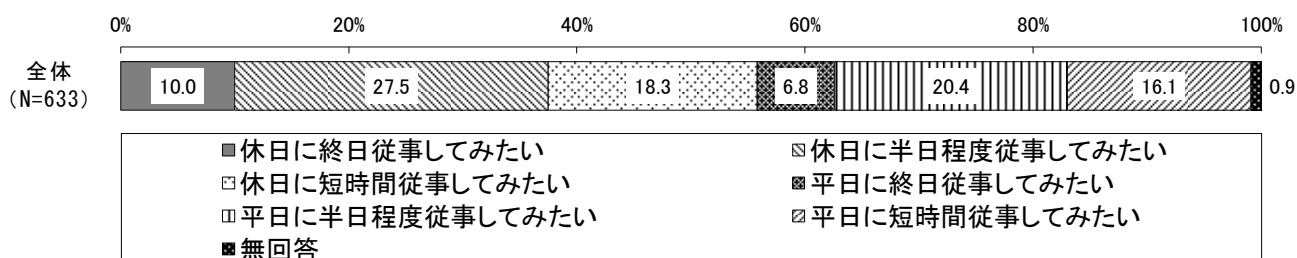
(2) 農業へ就業するとした場合、希望する勤務形態

② ①で「兼業(副業・アルバイトを含む)での農業への就業に興味がある」を選んだ方にお聞きします。あなたが実際に農業へ就業するとした場合、どのような勤務形態で従事してみたいですか(○は1つ)。

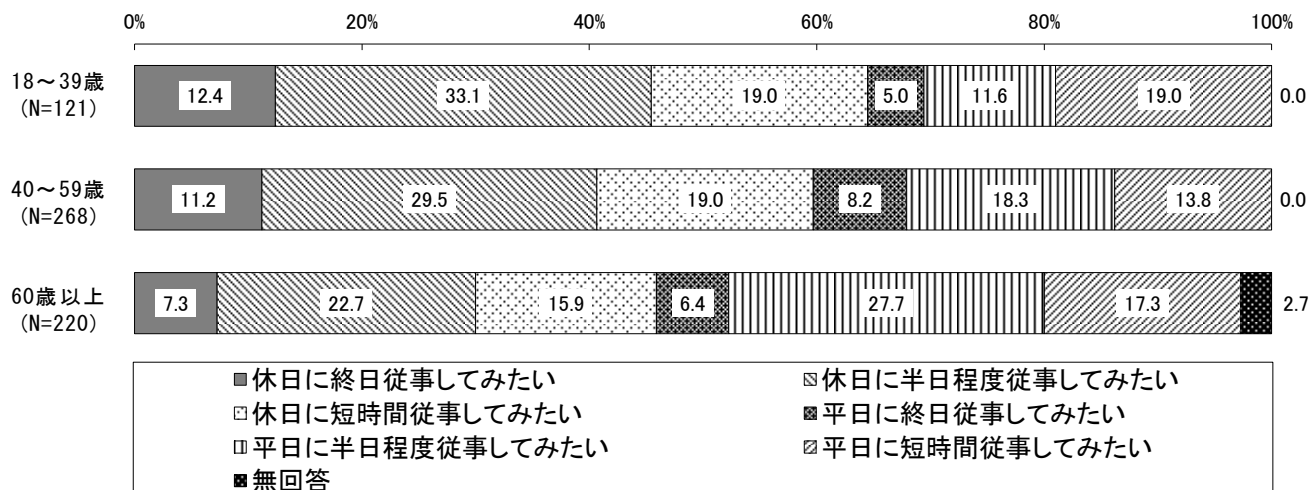
全体では、「休日に半日程度従事してみたい」の割合が27.5%と最も高く、「平日に半日程度従事してみたい」の20.4%、「休日に短時間従事してみたい」の18.3%と続いている。

年代別では、「休日に半日程度従事してみたい」の割合は、18～39歳で33.1%と最も高い。「平日に半日程度従事してみたい」の割合は、60歳以上で27.7%と最も高い。

【全体】



【年代別】



5 海岸漂着ごみ対策について

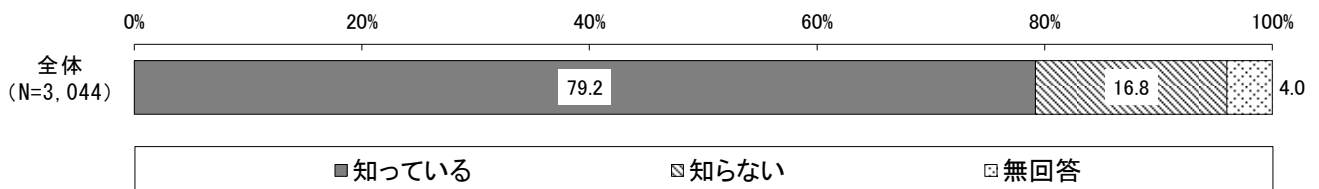
海岸漂着ごみ問題に関する認知度

- ① 秋田県の海岸には毎年のようにごみが漂着し、海岸を汚すなどの問題が発生していますが、あなたは、このことを知っていますか（どちらかに○）。

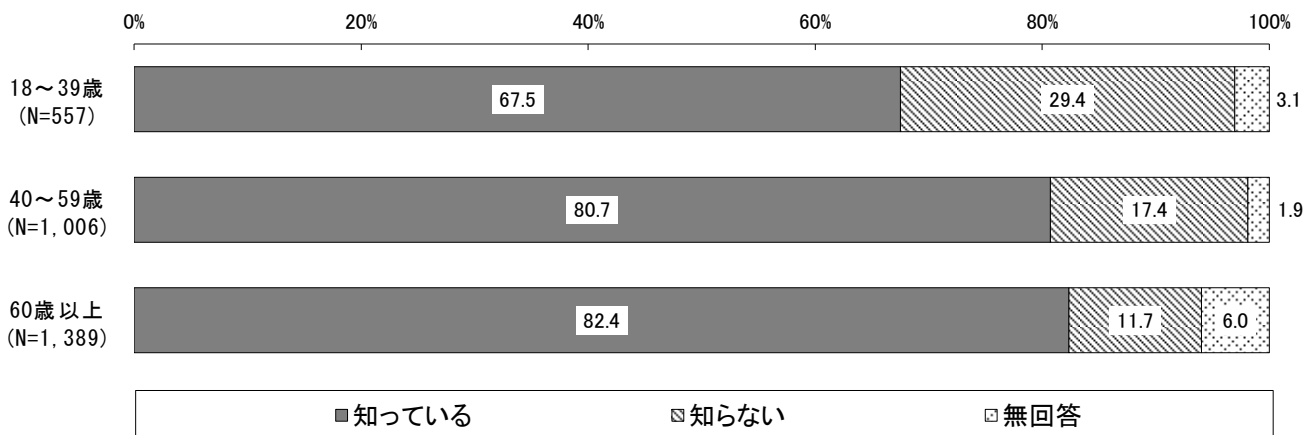
全体では、「知っている」の割合が79.2%で、「知らない」の割合は16.8%となっている。

年代別では、「知っている」の割合は、60歳以上で82.4%と最も高い。「知らない」の割合は、18～39歳で29.4%と最も高い。

【全体】



【年代別】



6 がん対策について

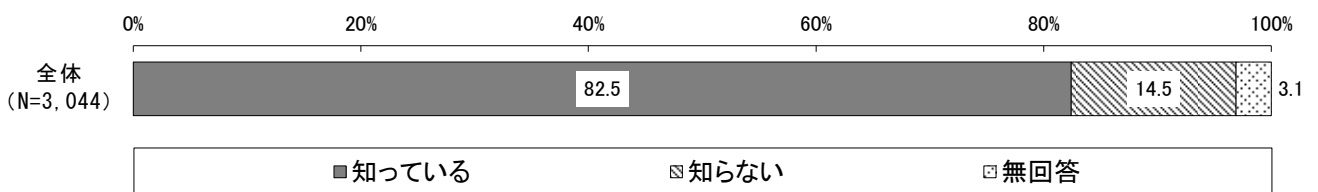
(1) 日本人のがん発症率に関する認知度

① あなたは、日本人の2人に1人はがんになることを知っていますか（どちらかに○）。

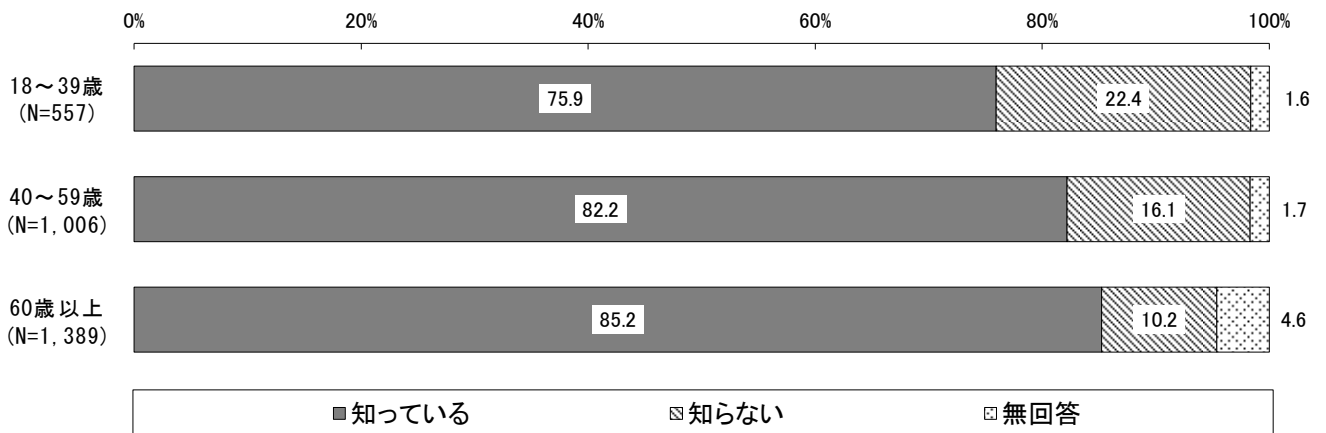
全体では、「知っている」の割合は82.5%で、「知らない」の割合は14.5%となっている。

年代別では、「知っている」の割合は、60歳以上で85.2%と最も高い。「知らない」の割合は、18～39歳で22.4%と最も高い。

【全体】



【年代別】



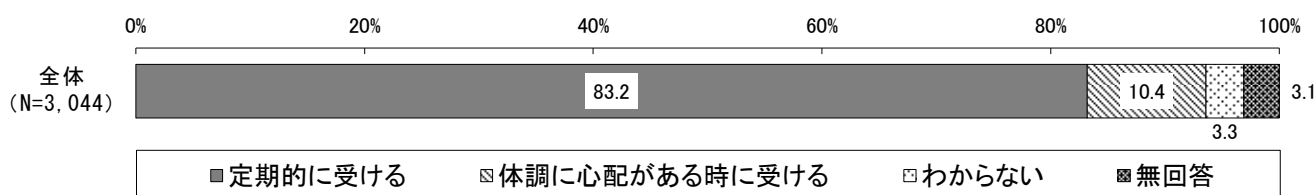
(2) がん検診の受診時期に対する考え方

② あなたは、がんを早期に発見するためにはがん検診をどのように受ければよいと思いますか (〇は1つ)。

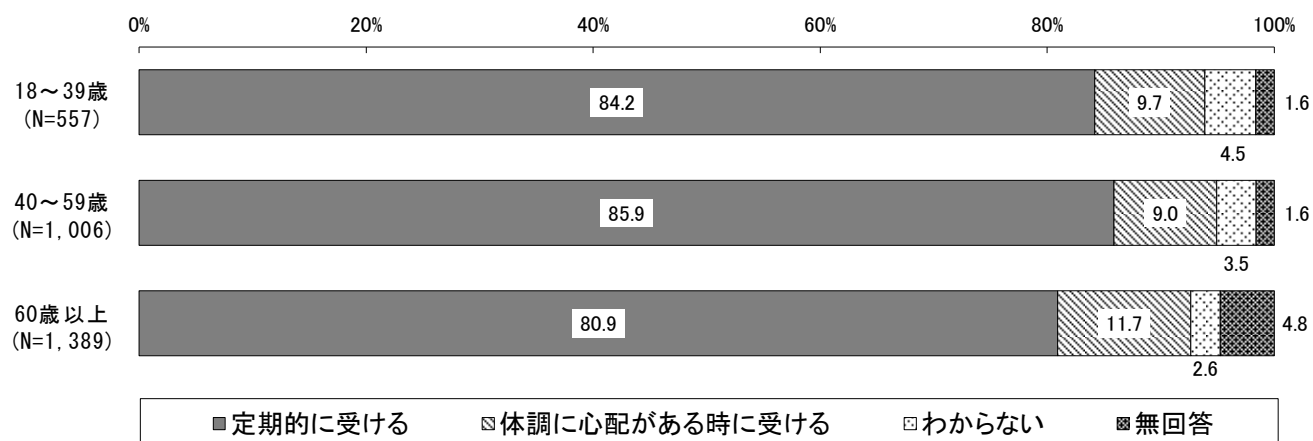
全体では、「定期的に受ける」の割合は83.2%で、「体調に心配がある時に受ける」の割合は10.4%となっている。

年代別では、「定期的に受ける」の割合は、40～59歳で85.9%と最も高い。

【全体】



【年代別】



7 社会活動・地域活動について

社会活動・地域活動への取組の頻度

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」(※)に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか(○は1つ)。

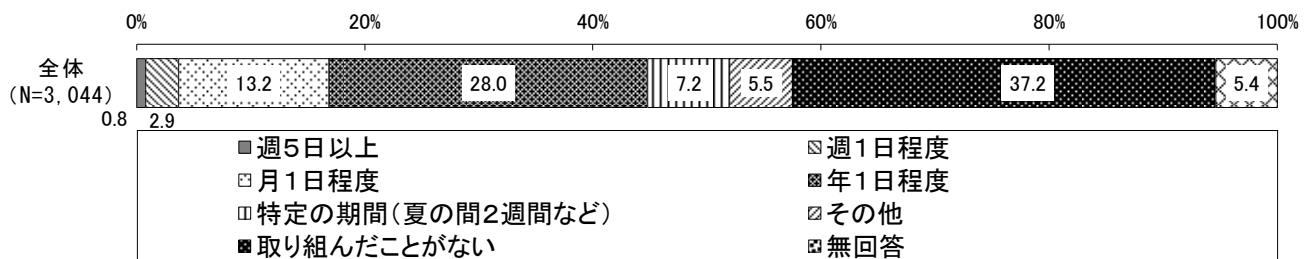
※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い等

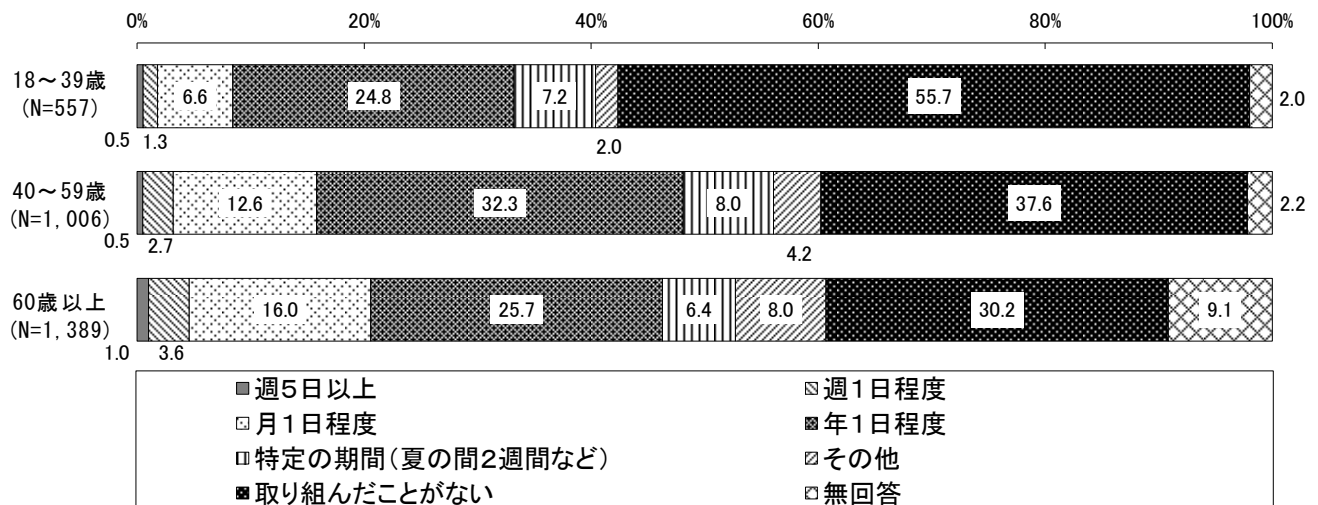
全体では、「取り組んだことがない」の割合が37.2%と最も高く、「年1日程度」の28.0%、「月1日程度」の13.2%と続いている。

年代別では、「取り組んだことがない」の割合は、18～39歳で55.7%と最も高く、60歳以上で30.2%と最も低い。

【全体】



【年代別】



8 自転車の安全な利用について

自転車損害賠償責任保険への加入状況

① あなたは「自転車損害賠償責任保険（※）」に加入していますか（○は1つ）。

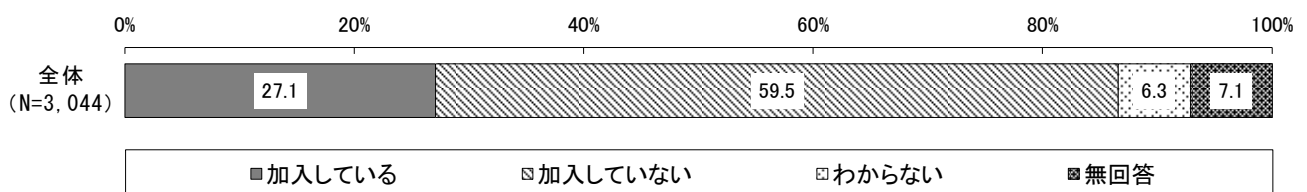
※自転車を運転中の事故により、他人にケガを負わせてしまった場合に備える保険。

※自転車保険単独のものや、自動車保険・火災保険・傷害保険の特約、共済、職場の団体保険などがあります。

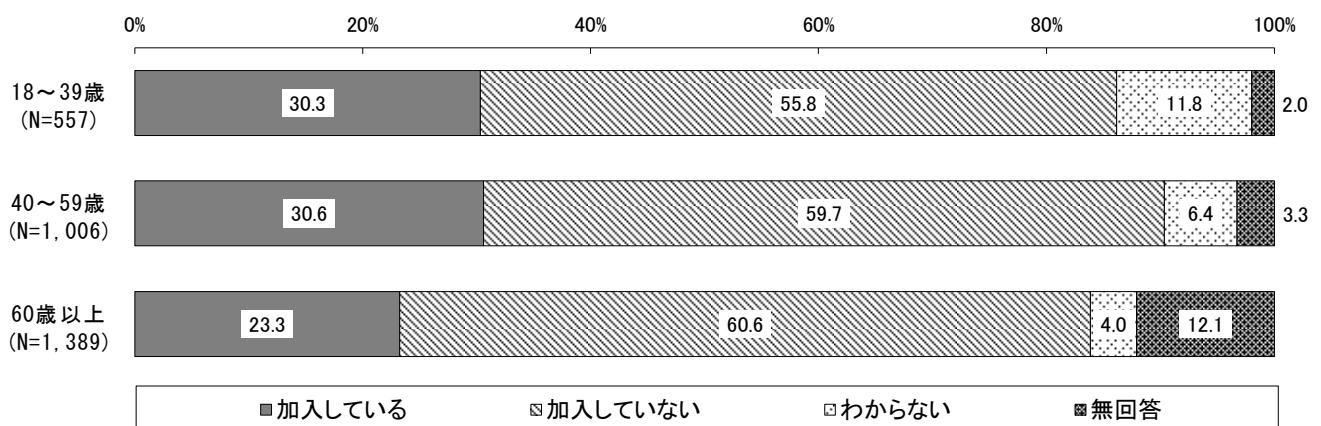
全体では、「加入している」の割合は27.1%で、「加入していない」の割合は59.5%となっている。

年代別では、「加入している」の割合は、40～59歳で30.6%と最も高い。「加入していない」の割合は、60歳以上で60.6%と最も高い。

【全体】



【年代別】



9 男女共同参画について

「男は仕事、女は家庭」の考え方

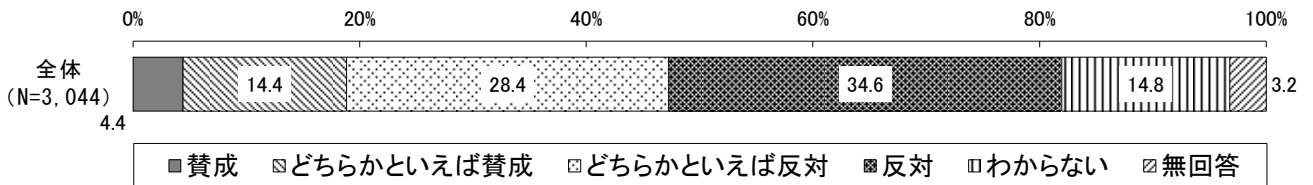
① 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか
(〇は1つ)。

全体では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は18.8%で、「反対」と「どちらかといえ
ば反対」を合わせた割合63.0%よりも低い。

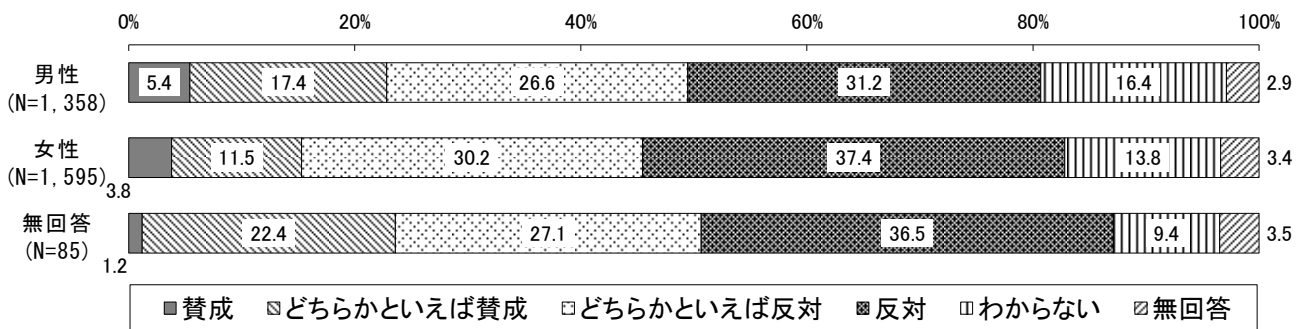
性別では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、男性が女性より高く、「反対」と「ど
ちらかといえば反対」を合わせた割合は、女性が男性より高い。

年代別では、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合は、60歳以上で23.8%と最も高い。「反
対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合は、18～39歳で69.5%と最も高い。

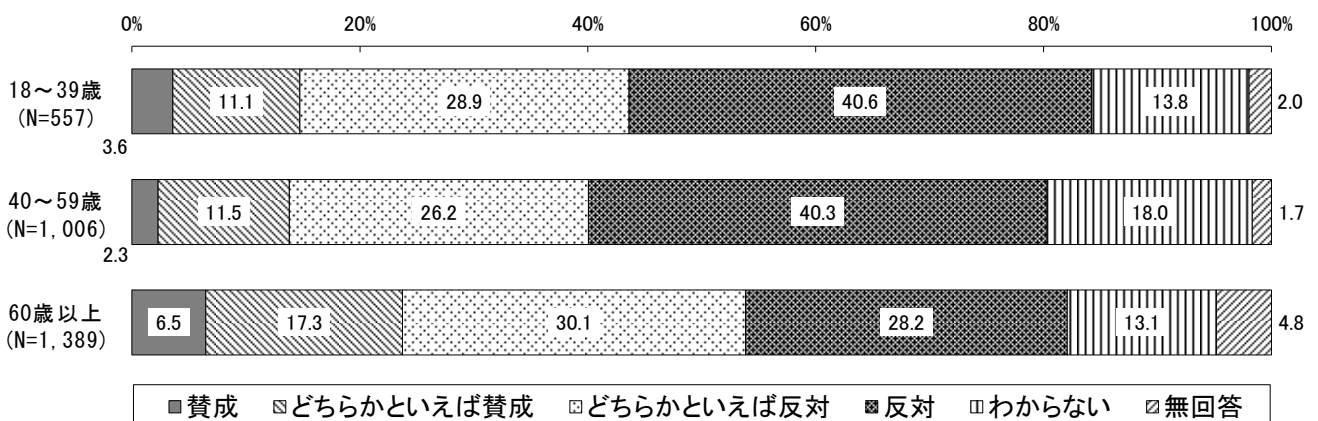
【全体】



【性別】



【年代別】



10 環境保全活動について

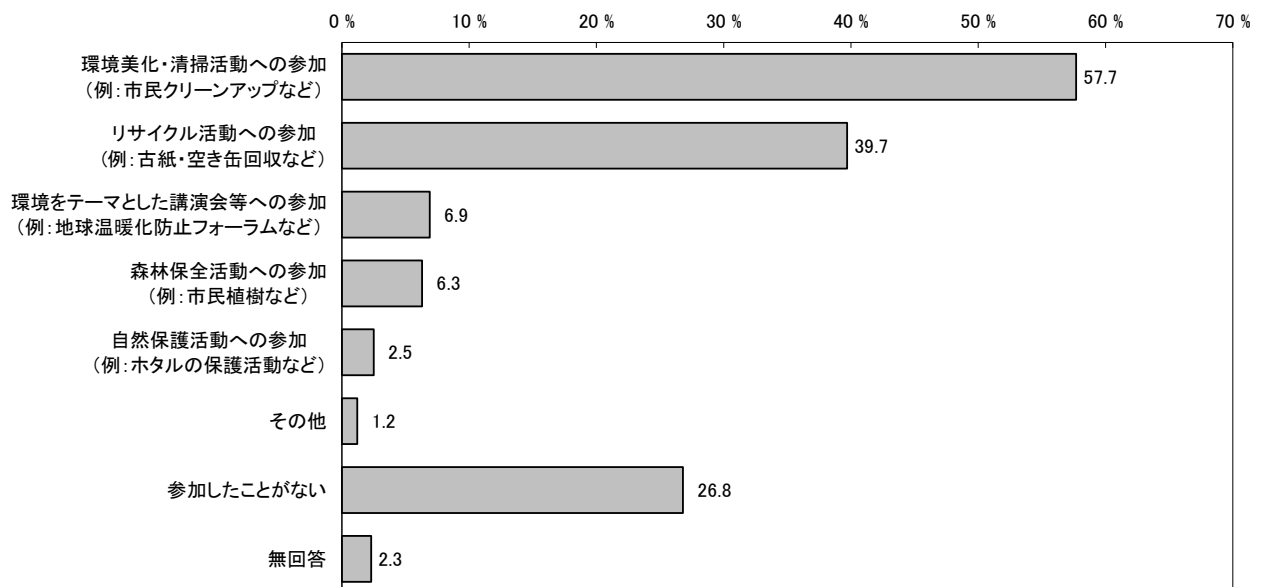
環境保全活動への参加状況

① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（〇はいくつでも）。

全体では、「環境美化・清掃活動への参加」の割合が 57.7%と最も高く、「リサイクル活動への参加」の 39.7%、「参加したことがない」の 26.8%、「環境をテーマとした講演会等への参加」の 6.9%と続いている。

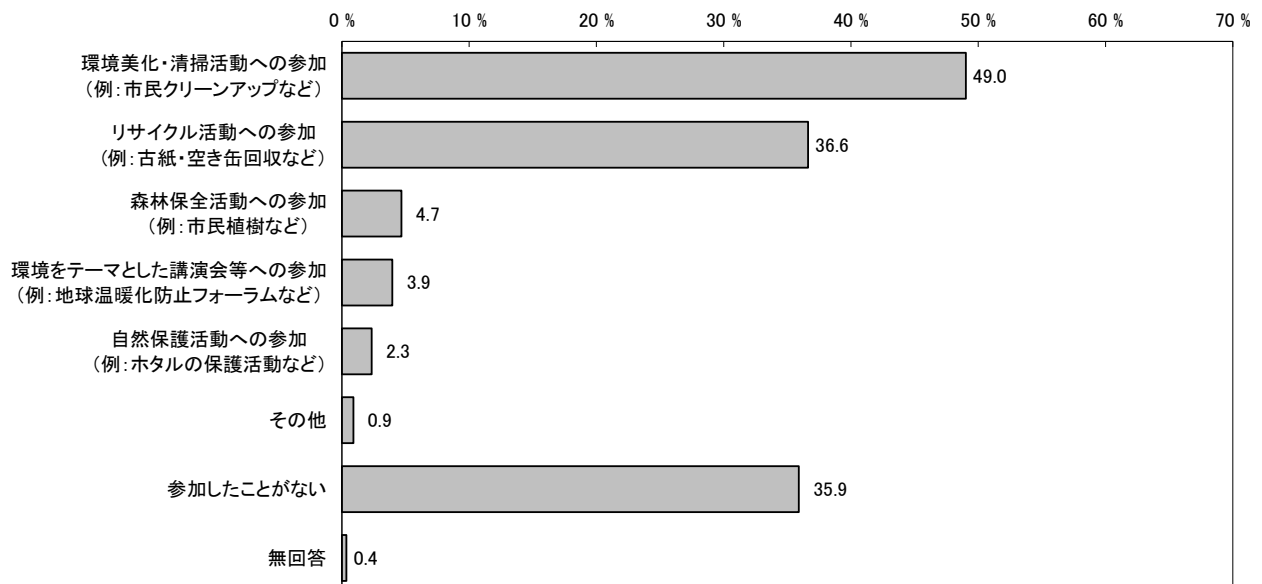
年代別では、全年代共通で「環境美化・清掃活動への参加」の割合が最も高く、「リサイクル活動への参加」がそれに続いている。また、年代が低くなるにつれて、「参加したことがない」の割合が高くなっている。

【全体】

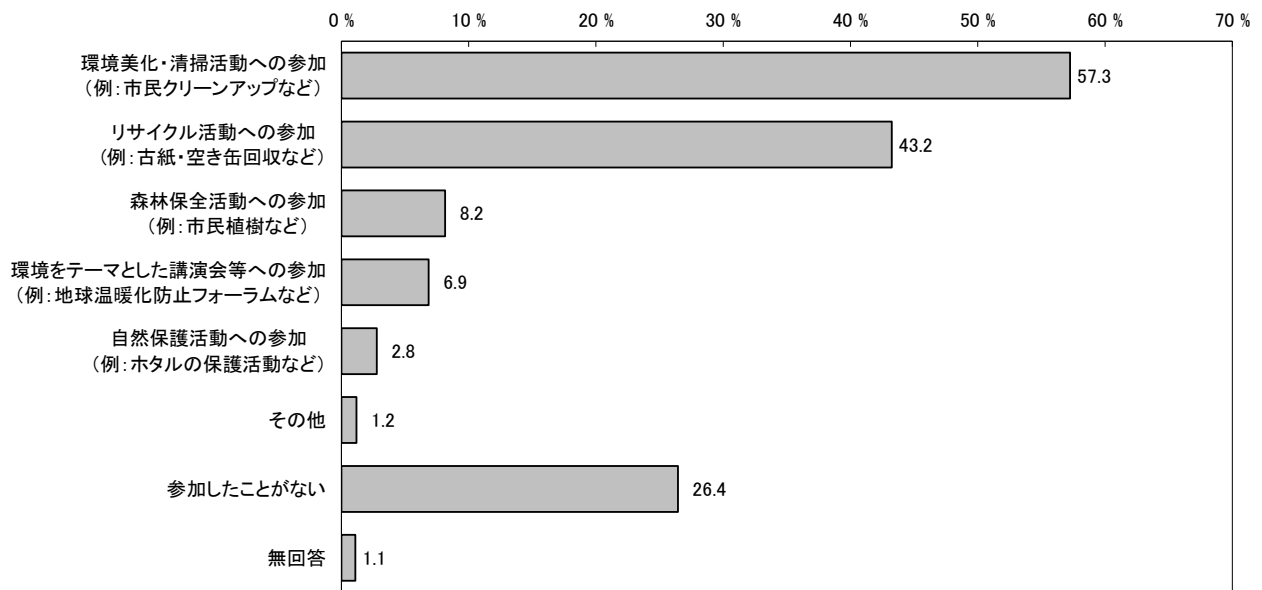


【年代別】

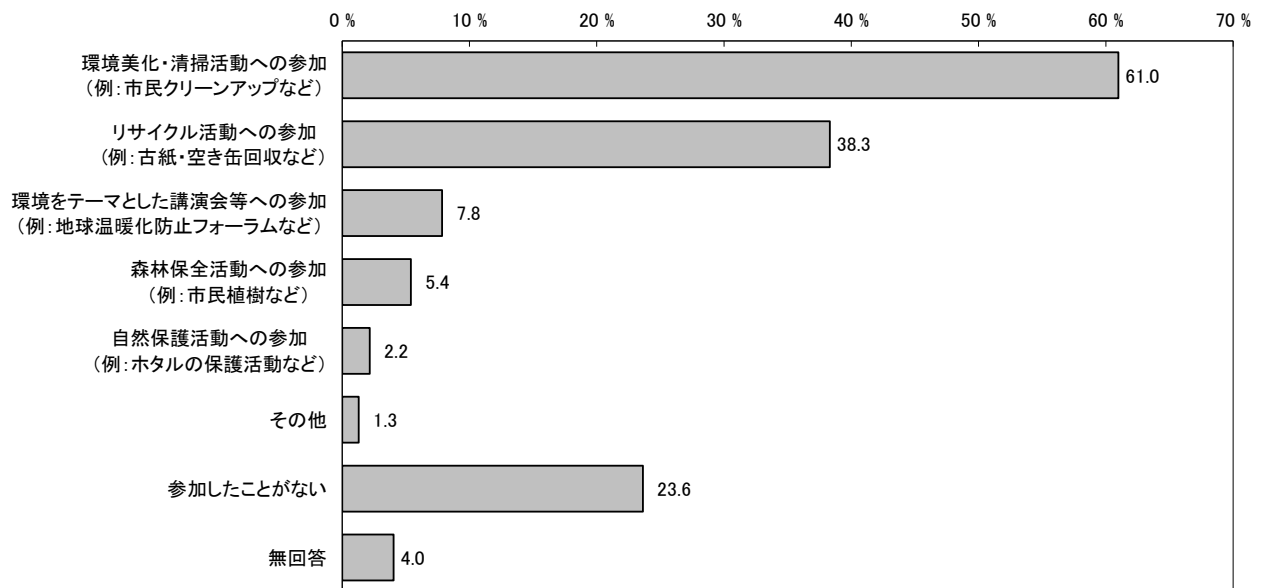
[18～39 歳]



[40～59 歳]



[60 歳以上]



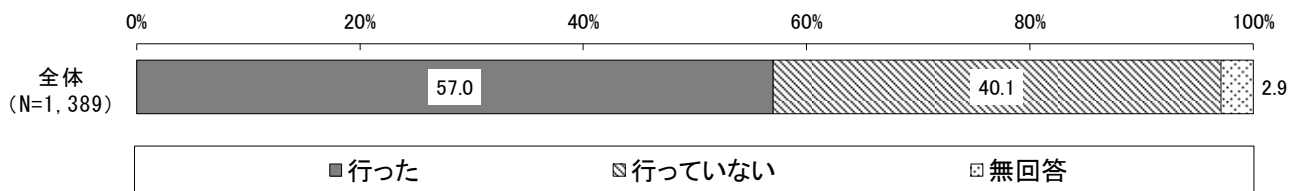
11 高齢者の社会参加について

60歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和元年度）

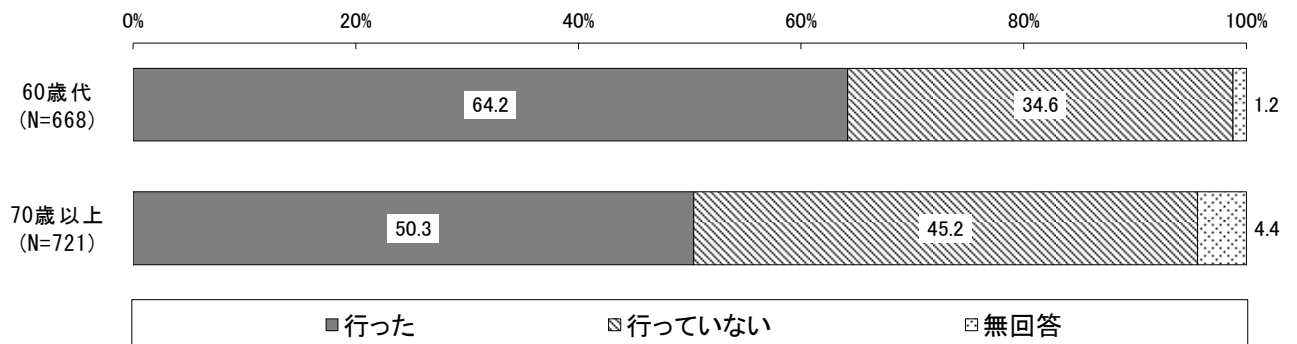
① 60歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和元年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

全体では、「行った」の割合は57.0%で、「行っていない」の割合は40.1%となっている。
年代別では、「行った」の割合は、60歳代で64.2%と70歳以上より高くなっている。

【全体】



【年代別】



12 子ども・若者への支援について

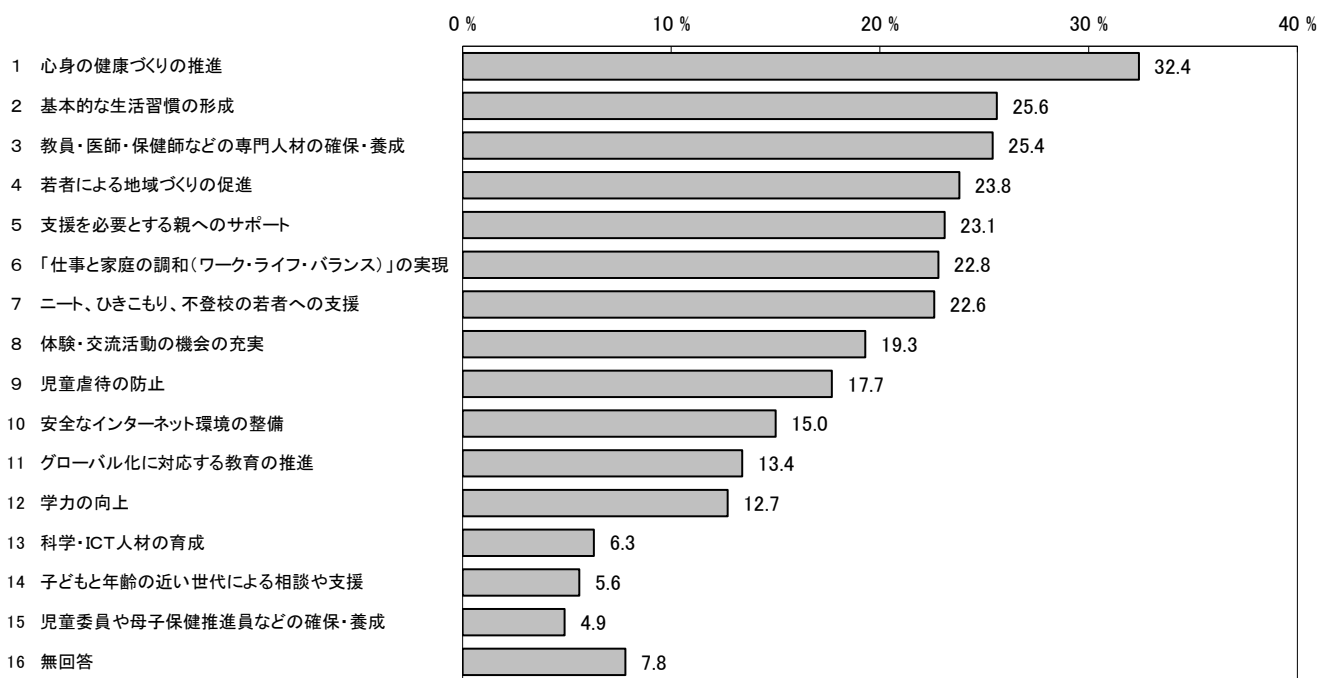
子ども・若者への支援で、県に特に力を入れてほしいこと

- ① すべての子ども・若者が健やかに成長し、希望を持って社会生活を送ることができるようにするために、あなたが県に特に力を入れてほしいことは何ですか。下から3つまで選択して番号を記入してください。

全体では、「心身の健康づくりの推進」の割合が32.4%と最も高く、「基本的な生活習慣の形成」の25.6%、「教員・医師・保健師などの専門人材の確保・養成」の25.4%、「若者による地域づくりの促進」の23.8%と続いている。

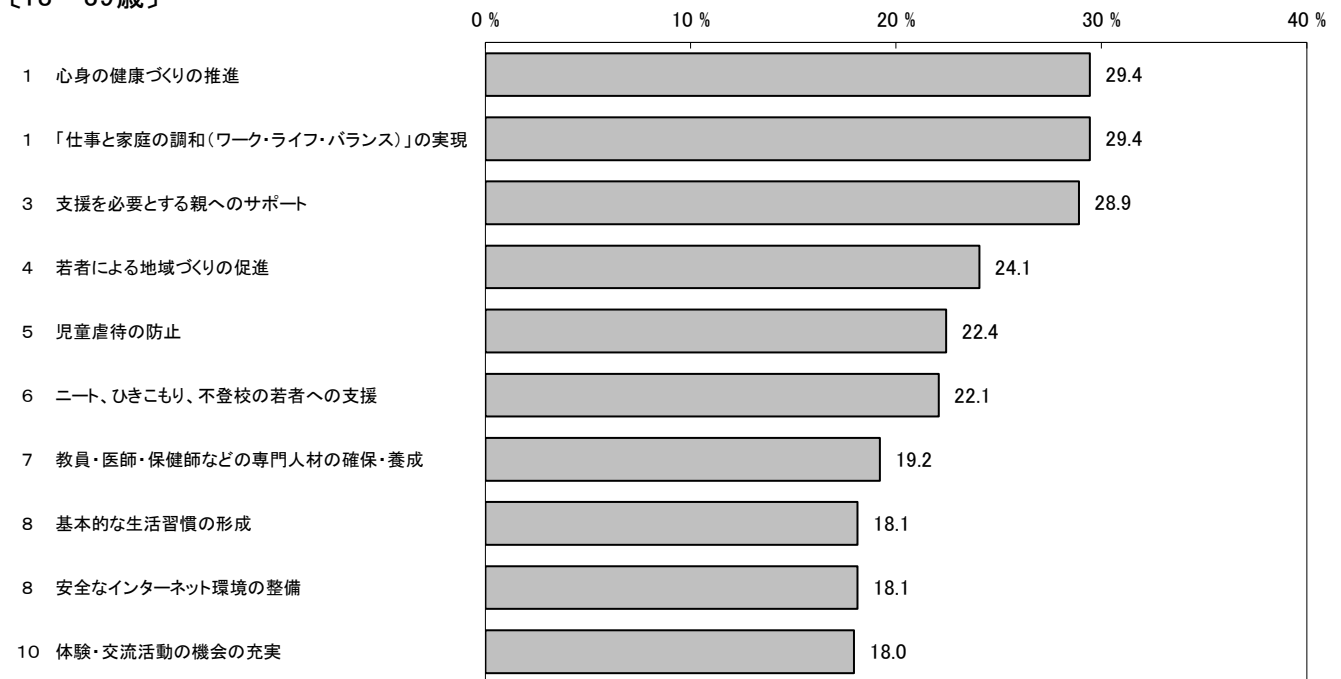
年代別では、全年代共通で「心身の健康づくりの推進」が1位となっている。また、年代が上がるにつれて、「基本的な生活習慣の形成」の順位が上位になっている。さらに、年代が下がるにつれて、「仕事と家庭の調和（ワーク・ライフ・バランス）」の実現」の順位が上位になっている。

【全体】

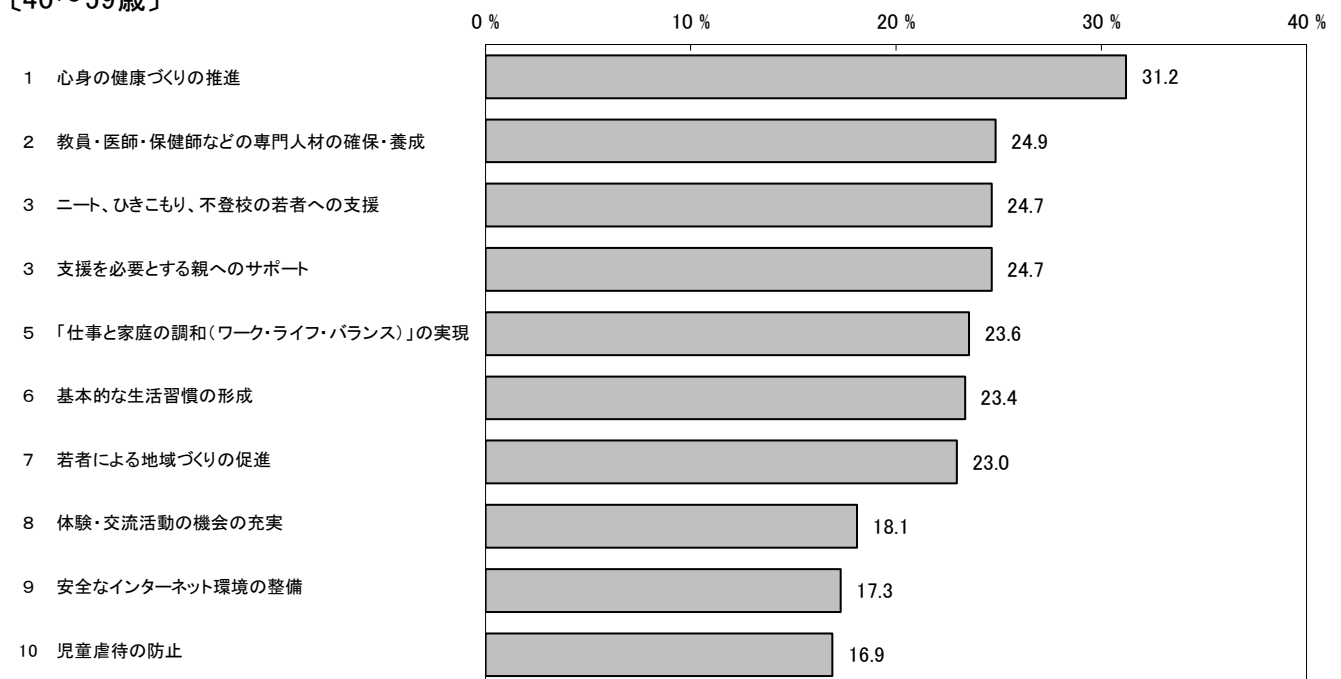


【年代別】

〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



[60歳以上]

